



TOKYO 2020

警備JVとの個別契約の締結について 【大会延期に伴う締結済個別契約の解除】

東京2020大会組織委員会 警備局 装備調達部

2020年9月18日

1. 審議事項

- 2018年11月に警備JVとの間で締結した基本契約に基づき、2019年11月以降はJV加入警備会社に割り当てが終了した対象地域ごとに個別契約の締結を進めていた。

※個別契約は、対象地域や割当警備会社が確定するごとに契約変更を行い大会時までに対象地域の警備JVとの基本契約に基づく全警備対象を確定させるもの。

- 大会延期に伴い、警備JVと調整した結果、来夏に向け新たに個別契約の締結手続きを進める必要があるため、締結済の契約の解除に要する経費を支出することとしたい。

2. 経過(個別契約締結の背景、目的等)

(1) 背景

- 2020年に向けた警備需要の高まりにより、競技会場が集中する東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県の一都三県の地域及び短期集中的に要員が必要となる自転車競技等の路上競技については、警備員確保が困難となることが想定されたため、2018年4月に東京2020警備JVが発足、同年11月には基本契約を締結した。
- 基本契約の締結以降は、会場など警備対象ごとの基本的な警備要件を定めるなど、詳細な調整を進めてきた。

(2) 目的

- 警備JVに委託するすべての対象について、個別契約である警備業務委託契約を締結することで、大会に向けた要員の確保を確実なものとする。

参考 基本契約と個別契約の関係について

	基本契約 (2018.11)	個別契約(2019.11～)
業務対象の範囲	東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県並びにその周辺の特定地域における競技会場、非競技会場等	対象地域の全警備対象 ・競技会場、非競技会場、路上競技会場 ・大会関連施設(ファシリティ) ・ラストマイル ・公式練習サイト ・東京2020ライブサイト
契約金額	・警備員単価 S：警備隊責任者等 A：エリア責任者等 B：警備小隊責任者・X線装置操作者等 C：一般警備隊員 ・その他手当 警備員が大会警備に従事するにあたり必要となる経費又は現物で支給	基本契約に基づく警備員単価での警備対象ごとの総額を締結(その他手当含む) ・契約金額 ・配置時間 ・契約期間 ・配置ポスト ・履行場所 ・配置人員 ・警備実施会社

※個別契約は対象地域全体であり、共同実施事業及び都からの受託事業等を含む。

3. 今後のスケジュール等

- 大会延期後も警備JVとは来夏の大会に向け、警備JVの体制の継続を前提とする調整業務を進めている。(事務局業務については別途委託に基づく)
- 2020年以降の経済情勢次第では、警備JV加入事業者の離脱等も想定される中で、本件の費用負担を早期に行い、新たな会期に対応するためのJV内の業務の再割り当てなど、個別契約の締結に向けた調整を進める。

